

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実 生徒の希望する進路の実現
評価指標	①授業アンケートにおける生徒の授業満足度の向上 ②希望進路実現率の向上 ③難関私立大学進学者数の増加
計画名	「交野21世紀プロジェクト」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1 確かな学力の育成 (1) 教科指導を充実させ、学力を向上させる。 ア 生徒を鍛え、伸ばす授業をめざし、交野21委員会を核にして「授業力向上に向けての研修会」を実施し、授業研究を進める。 イ 学習に向かう意識を向上させ、家庭学習時間を増加させる。 (2) 進路指導を充実させ、チャレンジ精神をもって進学・就職に取り組んでいく姿勢を育成する。 ア 3年間を見通した進路指導計画を確立し、学力生活実態調査等を活用して、時機を捉えた進路指導に努める。 イ 進路選択に対する意欲を喚起するために、様々な機会を設定し、その内容の充実を図る。 (3) 文・理ともにコースの教育内容の一層の充実を図る。 ア 「英語専門コース」では、英語でのコミュニケーション能力を一層向上させ、実践的で総合的な英語力を身に付けさせる。 イ 「理数専門コース」では、基礎・基本の学習及び観察・実験等を通して、科学的な思考に基づいて問題解決にあたる力を身に付けさせる。 ウ 「学芸コース」では、興味・関心や進路に応じた様々な選択科目を設定し、個々の進路実現を図る。
事業目標	ICTを活用した授業を全校的に実施することによって組織的に授業の質を高め、学力を向上させる。
整備した 設備・物品(数量)	液晶プロジェクター及び設置に必要な部材等 29セット、タブレット型パソコン 7台
取組みの 主担・実施者	取組みの主担：校長を総括責任者とする「交野21委員会」（指導教諭、首席、校長任命の教諭3～4名） 取組みの実施者：全教職員
本年度の 取組内容	(1学期) 時間割に教科会議を組み込み、ICTを活用した授業について情報交換を実施。 各教員が、既存のプロジェクターを教室に運び、ICT活用授業を実施。 プロジェクターメーカーによる実践事例研修への参加。 導入機器の研究及び選定。 (2学期) 授業力向上に関する全体研修会の実施 昨年度、理科の指導教諭によるICTの活用方法を伝える研修 音楽科の教諭による映像・画像を取り入れた授業の紹介 今年度、数学科の教諭によるGeoGebra及びGRAPESを用いた授業の紹介 英語科の教諭によるi-Padを活用して映画の吹き替え版作成する授業の紹介 (3学期) プロジェクターの設置。
成果の検証方法 と評価指標	①授業アンケートにおける生徒の授業満足度 72%以上 ②希望進路実現率の向上 3年進級時進路希望の実現率 70%以上 ③難関私立大学進学者数の増加 関関同立産近甲龍・関西外大 進学者数 50人以上
自己評価	※(記号説明) 大きく上回った(◎)、上回った(O)、達成できず(△)、実施できず(x) ①授業アンケートにおける生徒の授業満足度 72% (O) ②希望進路実現率の向上 3年進級時進路希望の実現率 71% (O) ③難関私立大学進学者数の増加 関関同立産近甲龍・関西外大 進学者数 44人 (△) ・プロジェクター購入の手続きに手間取り、その設置が3月になってしまったため、既存のプロジェクターを教室に運んで授業を行った。 ・ICTを活用してみようという意識は高まり、教員アンケートでは、約30%の教員が「よく使っている」、約50%の教員が「使ったことがある」と答え、合わせて約80%の教員が何らかの形でICT機器を使うようになった。 ・授業力向上のためには、ICTの活用やアクティブ・ラーニングについての勉強、授業見学をもっと行って互いに研鑽し合うことが大切であるという共通認識をもつことができてきた。
次年度に向けて	次年度の取組みの概要 (1学期) 教室に設置したプロジェクターを用いて、本格的にICT活用授業を開始する。 機器の使用に慣れ、有効な利用方法を引き続き探り、交野21委員会の委員を中心に実践を積む。 (2・3学期) ICTに不慣れな教員も巻き込んで、個人レベルから教科としてのICT活用に発展させる。 生徒授業アンケートにより分析と評価を行う。

学校番号

222